

## 「別荘のメンテナンス」

桑田直宏

この別荘を建ててから4月で15年になります。さすがに15年ともなると色々なところが傷んでいきます。建物のメンテナンスには、計画段階からできるだけお金がかからないように配慮したつもりですが、やはり山の気象条件が厳しく、思わぬところから出費することになりました。

一つは天体ドームです。山では冬はマイナス気温になります。そんな時、観測後に全開にした電動スリットを閉めようとするすると閉まらなくなる症状が数年前から出るようになりました。何度もスイッチを押したり、スリットを完全に開けないようにすることで何とか対処してきましたが、ひどくなるばかりです。さらにドームを回転させる車輪のウレタンゴムが経年劣化で動きが悪くなってしまいました。昼と夜の寒暖差や湿気などが影響しているの



でしょう。

協栄産業に連絡して見積りをしてもらったところ、ドームの外装クリーニングと再塗装、回転車輪の交換ともろもろのメンテナンスや出張費等で約35万円とのこと。結構高いです。

さらにこの冬は10年に1度と言われる寒波が到来しました。特に1月9日は、上郡町にある気象庁のアメダス気温でマイナス10.3度という観測史上最も低い気温を記録しました。

冬の対策として水道管に断熱カバーなどを付けたりと凍結対策はしていましたが、想定を超える寒さになったようです。数日後に別荘に行くと、トイレ便器の排水管付近から水が流れ続けていました。このトイレ便器には凍結防止の機能があり、そのスイッチを入れて対処していましたが、それも効かないような寒波だったということです。早速業者を呼んで点検してもらったところ、このトイレはもう使えないとのこと。仕方なく新しいのを注文しました。見積もりは約20万円とのこと。

痛い出費にはなりましたが、ドームがきれいになり快適になり、トイレも新しいデザインになり、新鮮な気持ちで別荘に行くことができるようになりました。今後は建物自体にもメンテナンス費用がかかるでしょうが、維持をしながら10年、20年と使っていくつもりです。